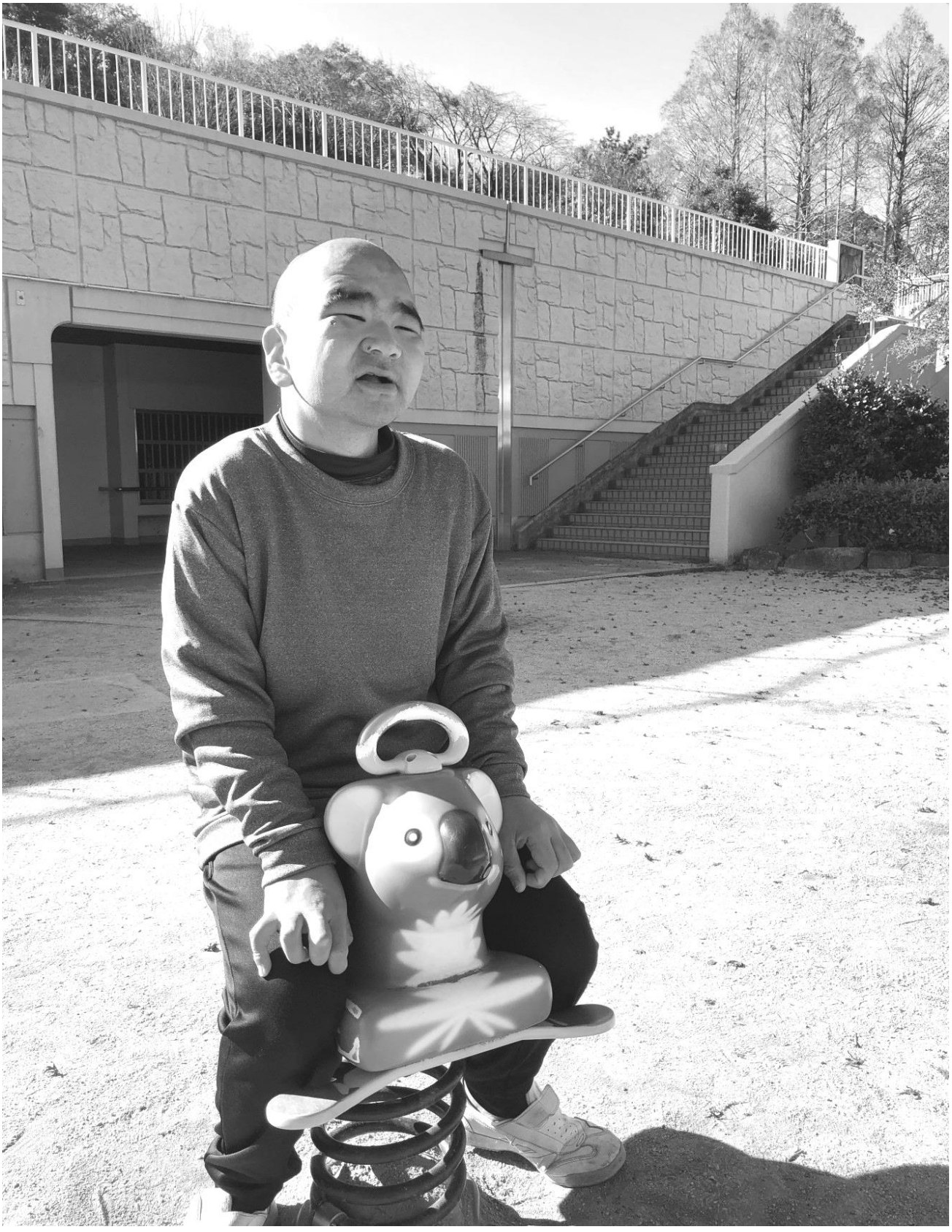
AJU麦の会＆麦の里ニュース

第　105　号　　平成 31（2019）年 2 月 5 日発行　　定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会　中区丸の内三―六―四三　みこころセンター４Ｆ　定価一〇〇円

平成三一年　二月五日（毎週火曜日発行）　ＡＪＵ通巻　増刊第一三三四八号　昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

「あなたのユメ叶えましょう③」

「電車に乗って水族館へ行きたい！」　2018 年 11 月 2 日（金）

計画の段階で、恵梨さんは大好きなわかめご飯のおにぎり、持っていくもの等を絵に描いて教えてくれました。彩さんは電車に乗ることが大好き。最初“自分達でお昼ご飯を作って公園へ…”組でしたが、数日悩んだ末に、やっぱり電車に乗りたい！と変更。（今回は特別です。）自分がしたい事をしっかり発言されていました。彩さんも大好きな唐揚げが入ったお弁当を「お母さんに作ってもらう！」、「中央線と地下鉄に乗ってー」と楽しみにされていました。とにかく“楽しい 1 日にしたい！”そんな思いで、今回のレクに参加しました。

当日は天候良好。恵梨さん・彩さんと職員 2 人合わせて 4 人で、名古屋港水族館へ女子旅。行きの電車では、通勤時間で混み合っていましたが、景色を眺め、車内放送を聞いたりして、とても楽しそう！

名古屋港に着いてから、まずはおやつを購入。そして水族館では記念撮影をしてからイルカショーへ。2 人とも水しぶきの音やイルカの声に大喜び。「キュー！キュー！」とイルカの声真似も楽しみました。

館内の青い照明を見つけたので、雷が好きな彩さんに「ピカピカしていて雷みたい！」と知らせると、視覚障害の彩さんも「わぁ、ほんとだ♪」ととても喜んでいました。恵梨さんは、海の生き物をどれも楽しそうに観賞していましたが、特にクラゲが好きで、真剣な表情で見ていたのがとても印象的でした。

今回の水族館で一番楽しかった事を尋ねると、彩さんは「青いライト！」と。これからも好きな事や、楽しい事を仲間たちと共有し、もっと関係を強めていきたいと思います。　（松原）

「温泉でのんびり過ごしたい！」　2018 年 11 月 16 日（金）

幸一さんと竹子さんが出かけました。行き先は、大人気の“土岐よりみち温泉”。平日でも、多くのお客さんで賑わっていました。竹子さんは「買い物がしたい」と、朝の会後すぐに出発。幸一さんは、11 時まで仕事をしてから出掛けました。現地に着くと、まずは腹ごしらえ。付属のレストランで、竹子さんは煮込みうどん、幸一さんはコロッケエビフライ定食でした。

そして温泉です。自閉傾向の強い幸一さんが、どれだけお風呂にじっと入っていられるのか、ドキドキしていました。ジェットバスの泡と水流が気に入ったのか、30 分近く、お湯に浸かり、リラックスできて良かったです。その後は、竹子さんは「穴弘法」の紅葉を見物、幸一さんは紅葉には関心を示さず、車で寝転がり過ごしています。　（実はかなりドキドキしていた稲垣）

「グループホーム七色の麦で、DVD 鑑賞したい！」　2018 年 11 月 16 日（金）

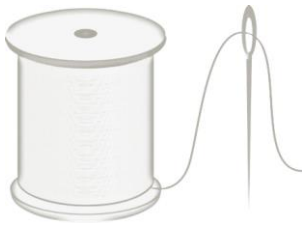
今回は最初にファミリーマートへ買い出しに行き、おやつや飲み物を購入。その後グループホーム七麦を貸し切り。クッションを利用しながら、のんびりと中島みゆきのコンサート DVD を鑑賞。お昼は職員と歓談しながら持ってこられた弁当を食べ、ひと段落すると再び DVD 鑑賞。

働き者のミユキちゃん（匿名）。今回のレクのお話を聞いて、普段は仕事をするはずの日に体を休ませることができたらと感じておられるのではないかと思いました。そこで、リラックスできる空間を提供できるよう努めたいと考えていました。

15 時のおやつ時、小木曽も 2 階へ上がっていくと、少しウトウトされているミユキちゃんが出迎えてくれました。「もうこんな時間か」とミユキちゃんが目を細める先には、力強く歌う中島みゆきではなく、愛くるしさとコミカルな動きをするアニメ“トムとジェリー”の姿が映っていました。「これがさ、おもしろいのよ！」と、おやつを食べながら共に笑い過ごしました。　　（小木曽）

ミユキちゃんに聞いてみました、ミユキちゃんの、

好きな曲　中島みゆきベスト３！



1 位　惜しみなく愛の言葉を（2007 年発売）
2 位　愛だけを残せ（2010 年発売）
3 位　糸（1992 年発売）

どの曲もコメントを頂こうと質問をしましたが、「好きなものに理由はない」という一言でした。小学生の頃からファンだというミユキちゃん。次回の中島みゆき作品がとても待ち遠しいそうです。

「東山動物園・遊園地を散歩したい！」　2018 年 11 月 26 日（金）

真路さん、克己さん、職員 2 人の計 4 人で車に乗り込むと「どこ行くの？」と嬉しそうに聞いてきた克己さん。東山動物園に行く事を伝えると「うそだー！」と笑い、ワクワクした様子でした。乗り物を見つけると遊園地に向かう真路さん。汽車の乗り物に乗ると満面の笑みでした。遊園地で過ごし動物園へ。人気のイケメンゴリラ、シャバーニがいる檻が近かったので、見に行くとタイミングが合わず。チンパンジーを見て「おったがー！」と、克己さんは嬉しそう。真路さんは散歩を楽しんでいました。（たら）

麦の里　餅つき大会

2018 年 12 月 12 日（水）

数日前から、お餅つきの話題でいっぱいでした。久々の餅つき大将でドキドキのイワンコフ。自分自身の気持ちを高めるために、のぼりを購入！しかし、当日の予報は雨？曇り？作成した資料と天気予報と何度もにらめっこ。辛かったぁ。

当日は雨も降らず（寒かったですが)、いざ大会開戦！！！今年のコンセプトは施設長が提案した「つきたてのお餅を食べよう！」という事で、施設長、お母様グループ、明治安田生命瀬戸店のボランティアの方々と協力して「お餅配り隊」を結成しました！お餅が出来上がると、施設内外を忙しく駆け巡ります。外の餅つき会場では、寒さに気を遣ってくれた仲間が、火で暖をとろうとするも、うまく着火せず、のろしが上がったように煙がモクモクと、まさに戦場(-“-)

そんな中、つきたてのお餅を！と、懸命に千切って準備してくれた皆さんのおかげで、仲間も職員も過去最高に食べられたのでは？改善点を生かして、次回の餅つき大会が楽しみです！

餅つきに尽力してくださった皆さん！本当にありがとうございました m(__)m

次の餅つき大将さん！頑張って～(˘ω˘)ﾉｼ　　餅に力を吸い取られたイワンコフ

～ ボランティア体験記　明治安田生命さんより～

今回初めて麦の里のおもちつき大会に参加させていただいて、保護者の皆様のお手伝いをさせていただいただけでなく、つきたての美味しいお餅までご馳走になり、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。これからも微力ですが、行事等のお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。　　明治安田生命　瀬戸営業所　　花原・松本

バザー

まっとつながろ祭　2018 年 11 月 12 日（日）

瀬戸市自立支援協議会主催のお祭りで、「事業所同士のつながり」を目標に、各事業所で同日開催のイベントをしたいという思いから実現しました。７月から会議を重ねて当日を迎えました。麦の里は、近隣の入所施設“まゆ”さんのスペースをお借りしてブース出展。ゲーム・自主製品の販売をしました。第１回ということもあり、お客さんは少なかったのですが「他の事業所と作り上げるイベント」は貴重な経験となりました。また、趣旨である「つながり」も感じられるイベントとなりました。

今回、このイベントを通じて「つながれた」ことはとても大きいと感じています。また、今回のイベントにとどまることなく他の事業所と「つながって」いく必要も感じました。この経験を活かしていきたいと思います。

Mura

「まっとつながろ」とは
「もっとつながろう」という、
瀬戸市の方言です。

元気な朝市　2018 年 12 月 1 日（土）AM7：00－9：00

寒空の下、朝陽と一緒に道の駅 瀬戸しなのに集合。すると駐車場にはすでに沢山の乗用車。昨夜から道の駅で泊まったのか？シェードが立っていて中が見えない車もチラホラ。

そんな中で、道の駅駅長の元気な声で朝市が開催されました。採れたての野菜や、道の駅お馴染みの美味い手作り品たちが、作者の手でテントに並べられて、『普段よりお得に買える』という朝市。

お客様は少なかったようですが、食べ物は完売。暖かい甘酒も振る舞って頂き、みんなでホッコリ!!　お店同士の交流もできて、暖かい気持ちで終わりました。

次回は３月開催予定。早起きは〇文の得。早起きが得意な方はぜひ一度覗いてみて下さい。　(T.W)

他　やすらぎ会館クリスマス会、わいわいセール、せと福祉マルシェ
ぬくもり子育てクラブへも出品、参加させていただきました。
ありがとうございました！

年賀状コンテスト

賛助会員の皆様や廃品回収をさせて頂いている方など、毎年お世話になっている方々700 名以上のみなさまに、年賀状でご挨拶をさせて頂いています。そのうち 300 枚はいつも仲間たちの手描きにしています。

今年、初めて「コンテストに挑戦」という形で、仲間たちに描いてもらいました。いつも沢山描きたがるけれど、途中から疲れてしまうような仲間にも、じっくり取り組んでもらえるように、職員も配慮できるようになり、一段と力が入りました。(職員が!!かも?!)

１人１枚しか届かないので、入賞作品が何処へ届くかはお楽しみ!!

職員みんなで投票して選びましたが、沢山あるはがきの中から選ぶのは、とても大変な作業でした。でも、それぞれに個性が出ていて、楽しませて頂きました。　　（T．W）

第１位

河合浩輝 画伯
絵筆やスポンジで描いた、力強い波の迫力が伝わる作品です。

第２位

小林恵里佳 画伯
うり坊の丸まった背中がしっかり前を向いています。

第３位

竹田海貴 画伯
足指先に絵具を付けたスタンプが可愛い芋虫になりましたね。

仲間紹介

くどう　しほ
工藤 志保さん

麦に来た当初、寂しくなるとフラッと作業を抜け出し、麦の里から出て行ってしまい、柱の影や、トイレに隠れたり、行方不明になることも。もともと、心臓疾患がある為、学校時代から走ることは厳禁、“重たいものは持ってはダメ”という人でした。その為、ボカシを混ぜる力も弱く、上手に出来ませんでした。それでも麦に来て約 10 年、廃品回収や内職等、様々な作業で力をつけてきました。週 1 日は内職作業を楽しみに、週 4 日はパン工房での作業がメイン。小さな手で、美味しいパンを製造しています。作業工程では、任せられることも増え、頼りにされています。

そんな彼女も、多くの人に支えられ、何よりも仕事に自信がついて、責任感を持って取り組んでいます。グループホームにも慣れ、今では「ママに会いたい」という発言もなくなりました。仲間の世話を焼いたり、夕食の配膳をしたり、時に甘えて「一緒にお風呂に入ろうよ」と心のバランスをとっています。

数字の順列が分かっていなかったり、1 対 1 の対応が出来ていなかったり…発達的には恐らく、幼い段階で躓いている部分があると思います。だから、昨日より前のことが曖昧で、明後日よりも先の予定を間違えていたり。きっと難しいことがいっぱいあると想像しています。けれども、大切なことは、ずいぶん前の事もきちんと覚えているし、自分の楽しみに向かって頑張る力も持って、時にはめげそうになりながら、逃げないで“いっしょうけんめい”本当にまっすぐ頑張っています。仕事のことも、一緒にそばにいる周りの仲間のことも本当によく見ています。ちょっとおせっかいな時もあるけど、その姿を見ていると元気をもらいます。そんな志保さんの“一途さ”は宝物です。

＃アグネスコラム

昔、手のひらにメモをとっていた少女が、白髪の老人に叱られた。
あなたのその手は何のためにありますか？と。
少女は、その問いに答えられず、老人はこう言い放った。
「いつか、あなたの子供を抱きしめるその手を大切にしなさい」と。

あなたのその手は、何のためにありますか？

新人職員紹介

かとう　おさむ
加藤　修　さん

2018 年 11 月下旬から、麦の里で働く修さんは、生まれも育ちも愛知県瀬戸市、現在は母と愛猫との暮らし。お母さまをとても大切にされ、「母の言うことは絶対」だそうです。

趣味は映画鑑賞で、中でも“ゴッドファーザー”が大好き。また、カンフー映画を 30 本以上も収集しているおり、小学生の頃からブルースリーに憧れ、黄色い衣装を身に着けていたこと、ヌンチャクは母に捨てられたことを笑って話していました。

高校卒業から 32 年間、製造業一本で働き、現在 51 歳。

人に感謝される仕事に就きたかったという理由で、麦の里で働くことを決めたそうです。

麦の里では“修さん”“修お兄さん”と親しまれ、自称、髪型は羽生結弦、体格はイナバ物置。

独自のユーモアを交えて、今日も“絶えず”周囲の笑いを誘っています。

菩提寺さんの初えびすに行ってきました！

瀬戸市では、お正月は 1 月 5 日までお休み。5 日の初えびすのお参りをしてから仕事にのぞむ、と言われています。というわけで、麦の里のすぐ近くの菩提寺さんの初えびすに、お参りに行きました。日頃仲間たちと散歩に来る時にはとても静かなところなのですが、この日には多くの方が参拝。お参りをし、甘酒・お汁粉のお振る舞いがあり、大変ににぎやかな様子で、思いがけないお正月を過ごさせてもらいました。

お参りのハイライトは、お札を千円でいただくと福引きを引き、自転車をはじめとする豪華景品が当たるというところです。子供向けの菓子等も用意されていました。

日頃お世話になっている地域の方や、お顔見知りの方々もチラホラ。子供連れの若いご夫婦もみえ、昔ながらの地域の集いとは、こういった形で行われているのだと、改めて感じることができた場所でした。少人数の参加となりましたが、麦の里として今後も参加していきたいと思います。

（照＆稲）

職員のつぶやき

今年は「亥」年。私は年男です。こう話すと、ある職員が、12・24 と数え出す。36・48・・。なぜそこで止まる！！そう、もう 60 歳なのですが、年相応の風格もないオヤジです。さて、そんなオヤジでも生きてきた人生があります。

昭和の時代を 30 年、平成の時代を 30 年。ちょうど半分ずつ生きてきたのですねぇ。

前半 30 年の昭和は、19 歳で埼玉から名古屋に出てきて「障害者運動」にはまっていく時代でした。1979 年の養護学校義務化。それまで障害児の多くは就学猶予・免除といって、ていよく学校に行くことを断られていたのです。それが名古屋発祥の「不就学をなくす会」の運動で国の制度を変えさせたのです。今でこそ「インクルーシブ」といって一緒に学ぶことが始まっていますが、時代を遡ればそんなこともあったのです。大学 4 年間をダブることなく卒業した私は、まんまと名古屋市職員の障害者別枠採用試験に合格。29 年間仕事をすることになります。この障害者別枠採用制度は、1975 年だったかな、神戸市が初めて行った障害者雇用制度です。その後愛知県が 2 番目に実施。そのあとに名古屋だったかな。これも何気に行政が始めたわけではなく、先輩障害者諸氏のなが～い運動によるものでした。その成果に乗っかって私は仕事を授かったということかな。ありがたいことです。その後、行政マンでありながら「5 時から障害者運動活動家」という二足のわらじを履く人生をまっしぐら～。法律や制度、税制。住民票から健康保険。生活にかかわることが役所の仕事には詰まっています。それら一つひとつは全て政治に絡んでいる。政治が国民に目を向けている時は制度は身近になるが、得てしてその逆になる。それを肌身に感じる仕事でした。だから、「覚えられることはすべて覚える。」をもっとうに仕事に取り組み、運動の課題にもつなげていった。なんてかっこいいこと書きましたが。結構奔放な人生だったかも。

後半 30 年の平成は、麦とのかかわりが 3 分の 2 以上を占めます。1991 年に麦の会が芽吹き、1992 年からお誘いを受けて参加する事になりました。妻は、公務員を辞め黎明期の麦の里にどっぷり浸かってた。初めは月給 3 万円ガソリン代込みの厳しい給料ではありましたが、楽しさは一番だったのかも。それが今や社会福祉法人ですから、手弁当を通した前理事長、麦の職員、仲間、家族関係者含め「あっぱれ～」ですね。その社会福祉法人認可の時は、さすがに胃に穴があく思いをしました。社会福祉法人施設整備費は、建物の補助は勿論、机や椅子、書庫、パソコンなど施設運営に必要な備品も補助対象だったのですが、計画が大詰めになったころ突然制度改正があり、国との約束が反故にされ備品への補助が打ち切られたのです。何千万という出費です。貧乏所帯の麦の会では到底賄えない。悩みに悩んだ挙句に全額借金する事を選択。福祉医療機構も承諾してくださりやれやれと思っていたところ、今度は福祉医療機構から瀬戸市の補助金制度にクレームがあり、このままでは貸せない。貸して欲しくば担保を出せと言ってきた。これ本当に窮地でした。すべて発注後ですから不渡り覚悟で瀬戸市と福祉医療機構と渡り合いました。瀬戸市は、この窮状を見て補助要綱を改正。ぎりぎりセーフで施設整備が終了しました。思い出すだけでおなかが痛くなります。このできごとも政治や行政との関わりが強い訳で、ノンポリではいられない。そう思います。政治や行政の仕事の結果として、法律や制度ができあがりますが、実は政治や行政は種をまきません。種をまくのは人です。種をまき芽を育てる。芽が育ち実を持つころが政治や行政の出番といったところかな。政治や行政が歪めば、実は突然変異して人々の思いとは違う実がなってしまいます。そんな事にならないようしっかりと目を向けなければならない。そう思います。

今年は「御世変わり」の年です。「亥」年は、「亥年政変」ともいわれる年です。愛知県知事選挙、統一地方選挙、参議院選挙と続きます。新しい年号の始まり、人生後半 30 年（そんなに生きたくないけど）の始まりに当たり、いやな思いを繰り返さない為にも一生懸命種をまく人たちと交わり、政治や行政に向き合っていきたいと思う次第です。ブツブツ・・つぶやきでした。　　（最古参の一人　わ）

中品野町　グループホーム七色の麦　思い出の写真館

2018 年、最後の七麦イベントはクリスマス会と誕生会で、リース＆ホットケーキ作り！！当初はホットケーキではなく、クリスマスケーキの飾りつけを予定していたのですが、内海さんから「ホットケーキやりたい！」と意見がでて仲間と相談した結果変更となりました。ホットケーキは・・・粉をかき混ぜる→ジューとホットプレートで焼く→ひっくり返す→完成と作り方が簡単で、また焼く音も楽しめるので視覚障害のある仲間にもイメージしやすい取り組みだと思います。今回は残念ながらホットプレートの温度が低めだったので、内海さんの楽しみにしていた『ジュー』の音は聞こえなかったようですが・・・

12 月 25 日のクリスマス会を盛り上げようと 2 週間前くらいからみんなで準備をしています。折り紙で作った輪やオーナメントでリビングを飾りつけ、クリスマスツリーも電飾や小物をぶら下げると一気にクリスマスモード全開です。浩輝さんはツリーを見てニヤニヤ。千加さんは職員の歌うクリスマスソングに合わせて身体をゆらゆら。当日は慌ただしいので早めにリースを作る仲間も。久美子さん（世話人）手作りの木のツルの台に、竹子さんや志保さんは次々に飾りを付けて色鮮やかなリースができました。部屋に飾りたいとふたりとも満足気の様子でした。仲間もクリスマス会の話題で盛り上がりました。

そして当日はリースとホットケーキ作りに分かれて活動。竹子さん、誠さん、奈穂さん、千加さん、浩輝さん、内海さん、体験の仲間はリース作り。誠さんは職員にグルーガンのやり方を習ったあと、ひとりで引き金を引いて接着。健司さんは、初めて見るグルーガンに興味津々でいろいろ質問していました。ホットケーキは志保さんと内海さんが参加。志保さんは生クリームを混ぜ、仲間の希望を聞いて、トッピングをひとりで行い大活躍。甘い香りが部屋中に漂い、美味しそうなホットケーキが出来上がりました。

そのあとは誕生日会とサプライズで明美さん（世話人）から仲間に感謝のメダルのプレゼント。ひとりずつに「美味しそうにご飯を食べてくれてありがとう。大好きです」など、メッセージを読みあげ首にメダルをかけてくれました。ちょっぴり恥ずかしそうだけど、思いがけないプレゼントになんだかみんな嬉しそう(#^.^#)　12 月の誕生日は 3 名。みんなで『Happy　Birthday』を歌ってお祝い！

お待ちかねの夕食はクリスマススペシャルプレートとホットケーキ！

てんこ盛りのイベントでしたが、仲間がいろんな場面で自分なりに楽しんでくれたようで、準備をした職員は、安堵と心地良い疲労感に酔いしれるのでありました・・・。　　（あさ）

お礼のコーナー〈敬称略　順不同〉

◇◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◇

賛助会員新規：髙塚伊久子

◇◆バザー用品等を提供していただきました◆◇

前田美智子

◇◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金＆物品をいただきました◆◇

山田桂三　匿名希望 9 名

◇◆「グループホーム青色の麦」建設募金をいただきました◆◇

効範小学校同窓会傘寿を祝う会　長江輝武（みんみん民あけぼの）　花井共子　井川善弥・成子
原佳子（カラスの宿）　稲垣渥子　金田淑子　坂野延子　藤井妙子　竹島晶子　匿名希望 19 名

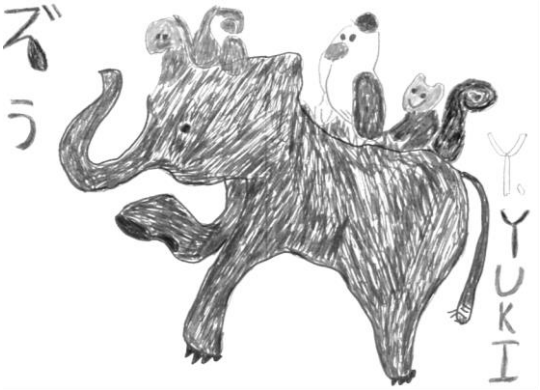
―お詫びとお断り―

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。　　（1 月 10 日現在）

瀬戸ライオンズクラブ様から

お米券

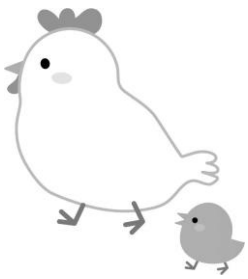
の寄贈をいただきました！



さんわグループ様から

鶏肉

の寄贈をいただきました！



正職員・パート・短時間アルバイト大募集!!

（夜勤、遅番、可能な女性も大募集！！）

社会福祉法人麦では、新事業として第二グループホーム＆第二麦の里を開設する予定です。それに伴って、麦の里（昼間）と七色の麦（夜→朝）で男女問わず募集中！
たとえば…・早朝2時間のみ・夜間2時間のみ（週1でも可）

詳しくは麦の里まで！（TEL　0561-41-4124）

今後の予定

2 月 1 日	麦の里　難訓練
3 日	麦の会　定例会
	龍泉寺募金活動
10 日	ふれあい朝市出店予定
11 日	ｲｴﾛｰﾚｼｰﾄｷｬﾝﾍﾟｰﾝ
23 日	麦の会　役員会
26 日	北山地区廃品回収予定

3 月 2 日	麦の里　定例会
10 日	ふれあい朝市出店予定
11 日	ｲｴﾛｰﾚｼｰﾄｷｬﾝﾍﾟｰﾝ
22 日	せと福祉マルシェ
26 日	北山地区廃品回収予定
30 日	麦の会　役員会

午前：10：00 ～ 11：30
午後：13：30 ～ 15：00

やすらぎ会館　木曜市 開催日

＊2 月＊		＊3 月＊	
7 日	午後	7 日	午後
14 日	午前	14 日	午前
21 日	午後	28 日	午前
28 日	午後		

※ 変更になる場合もあります。

会場
住所:愛知県瀬戸市川端町 1－31
電話:0561-84-2011

パン、炭、ＥＭボカシ等仲間と接客販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。

障害者とともに歩む　麦の会
生活介護事業　及び　麦の里
就労継続支援事業Ｂ型
共同生活援助事業　七色の麦
〒480-1214　愛知県瀬戸市上品野町１３５４－１２
電話（０５６１）４１－４１２４／ＦＡＸ（０５６１）４１－３７６６
Mail　nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

編集日は年に一度のご馳走の日！
から揚げに、エビフライなど、仲間も職員も大好きなメニューばかりです❤
美味しいごはんと仲間に力をもらって、今日も機関紙を作ります。（や）